



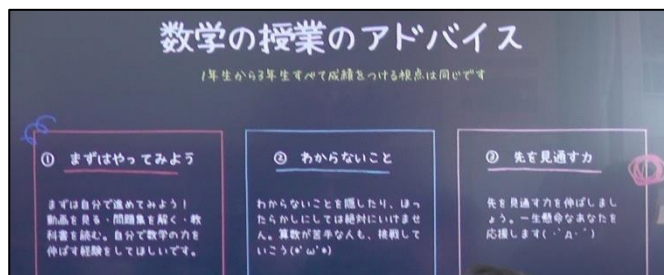
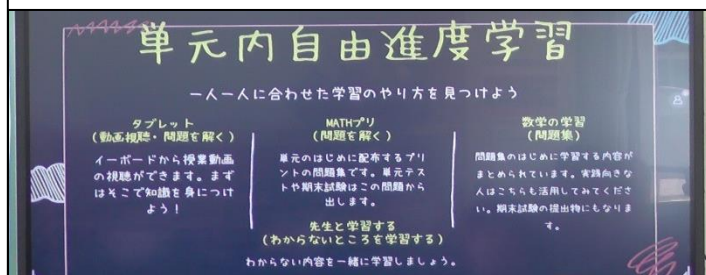
【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

ICTを効果的に活用した授業の様子

昨年度に引き続き本校は大古小学校と共に「リーディングDXスクール事業(クロームブックや電子黒板等のICT機器を効果的に活用する授業づくり)」に力を入れています。特に、「主体的な学び」をめざした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、動画教材の活用や、昨年度も行った外部講師によるオンライン授業などの取組を考えています。また、このことに先進的に取り組んでいる学校を大古小学校の先生と共に視察し、大柿中学校区での取組を充実できれとと考えています。今後もICTを効果的に活用した実践を本校のホームページでも紹介していきます。

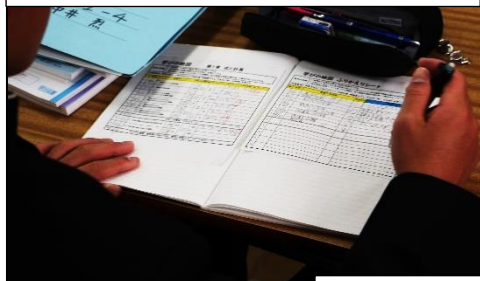
数学科授業【単元内自由進度学習：学習方法を自己決定⇒ICTの活用・協働的な学び・個別最適な学び】

数学科では、年度初めの授業開きで「単元内自由進度学習」という新しい学習スタイルの方法や内容について生徒に説明して始めています。具体的には10数時間の単元における学習内容を把握し、「学びの地図」というシートを使い、自ら学習計画を立て、毎時間学習方法を自己決定して進めていきます。学習方法は、個別にクロームブックで学習支援動画を視聴し、教科書、問題集を使う学習の他に、複数で協働的に学習したり、先生に直接教えてもらったりする方法があります。それらの中から自己決定していきます。授業の終わりに記入した学習の振り返りを先生が確認・評価しています。力がついたかどうかは、スモールステップの問題プリントで力試しをして理解度を確認していきます。「学びの地図」により学習方法を自己選択して学ぶ個別最適及び、協働的な学びを通して、主体的な学びになるように取り組んでいます。生徒たちは自ら決めた学習方法で学力向上を目指して頑張っています。本年度は、他の教科でもこの学習方法を少しずつ取り入れています。



学びの地図に計画・学習方法を記入

個別にクロームブックで説明動画を視聴する。個別に問題演習を行う。



数名で協働的に学び合う。

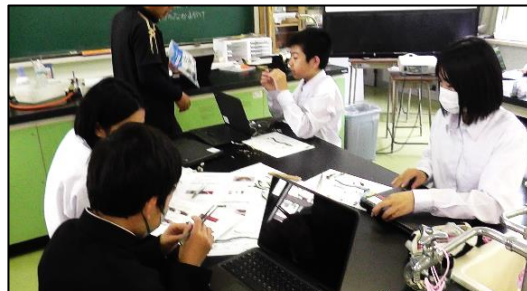


先生から直接学ぶ。



理科授業【クロームブックで個別に説明動画を視聴して「煮干し（カタクチイワシ）」の解剖を行う。】

理科の授業では、煮干し（カタクチイワシ）の解剖を行い、動物の体のつくりの学習を行いました。この解剖方法について、クロームブックを使って「解剖の仕方の動画」を個別に視聴し、「心臓、脳、筋肉、背骨・・・」を取り出し、ワークシートに貼り付けて解剖結果をまとめました。個別の動画視聴により、生徒一人一人のペースで解剖ができ、他の生徒の解剖結果と比較して学び合いました。



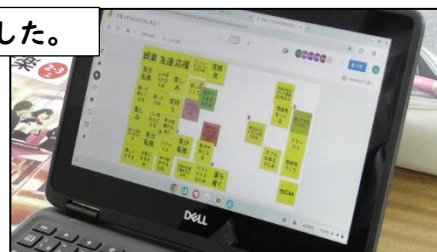
個別に動画を見ながら解剖し、数分で学び合っていました。ご家庭でもやってみましょう！（家庭学習の充実）



音楽科授業【クロームブックに各自の意見を書き込み、全体で意見交流を行い、考えを深めた】

音楽科の授業開きで、「音楽は何のためにある？」「音楽はなぜ学ぶのか？」という本質的な問いを投げかけ、生徒一人一人の考えをクロームブック上の付箋に書き込み、意見交流を行って進めていきました。

出てきた様々な意見から、音楽を学ぶ意義を考えさせていきました。音楽は、心を和ませる効果のあることからレジリエンスの育成に効果があります。皆さんにとって「『落ち込んだ時に心が回復して力になる音楽』」は何がありますか？」このような音楽を見つけていくことも困難なことを乗り越えていく力（レジリエンスの育成）につながると思います。



【クロームブックにリコーダーの演奏を録画して先生に提出】

リコーダーの実技を各自、動画を視聴しながら繰り返し練習しています。これまでリコーダーの実技テストを一人一人、先生の前で直接行っていましたが、現在はクロームブックを活用して演奏の様子を廊下等で個別に録画して提出する方法を取り入れています。このことにより、失敗しても何度もチャレンジしてベストの演奏動画を提出することができるため、みんな一生懸命繰り返し演奏を録画し、マイベストにチャレンジしていました。



個別に録画しています！